



Compita Japan トレーニングニュース 2003.12

注目情報!!

- ・ トレーニング：[2004年度スケジュール](#)
- ・ CMM®とは何か?
- ・ CMM®リードアセッサへの道のり
- ・ CMM®アセッサ/リードアセッサ資格を取るには?

CMM®とは何か?

CMM®とは、ソフトウェア開発における見積もり、納期の正確さ、外注管理能力、欠乏予防などの測定実績から、組織の開発能力を5段階で評価するモデルで、米国の国防総省が、ソフトウェア開発力を強化するために、1980年代末に、米国カーネギーメロン大学に依頼し、開発されました。CMM®は、CMMI®及びISO/IEC15504の進展とならび急速に注目を集めている組織の成熟度レベル評価に使用されるモデルです。この最適なプラクティスモデルは、5つの増加する能力レベルそれぞれの、18の段階キープロセス領域で構成されており、成熟したソフトウェア開発組織にとって重要なモデルです。CMM®はこれまで世界の数千もの組織で使用され、組織構造を把握し、投資効果を向上させるビジネス改善プログラムとして、大きな評価を獲得しています。[プロセスプロフェッショナルアセスメント手法\(PPA手法\)](#)は、コンピュータが開発した独自の手法であり、CMM®、CMMI® ISO/IEC15504 全てに適用可能なモデルで、SEIから強い支持を得ています

CMM®アセッサ/リードアセッサの資格を取るための基準は?

PPAのアセッサ、リードアセッサの資格をとるには3つの基準があります。

- ・ PPA手法によるトレーニングコースを確実に終了すること。
- ・ 各トレーニングコース最終日に行われる試験において合格すること。
- ・ 有資格者監督の下、規定の時間数のアセスメントを実施すること。

PPA手法によるアセッサになるためには、有資格者の下、50時間の2つのPPA手法によるCMM®適合モデルのアセスメントを行う必要があります。PPA手法による完全な有資格のリードアセッサになるためには、さらに同様の50時間のアセスメントが、3つめのCMM®適合モデルのアセスメントにおいて行われ、有資格者からの認定が必要になります。

*能力成熟度モデルCMM、CMMIは、カーネギーメロン大学によって、米国特許商標庁に登録されています

トレーニング日程

[CMM®入門コース](#)

2004年1月27日-29日

[CMM®アセッサコース](#)

2004年2月17日-20日

[CMM®リードアセッサコース](#)

2004年2月23日-24日

[CMMI®入門コース](#)

[CMMI®アセッサコース](#)

[CMMI®リードアセッサコース](#)

2004年4月以降に開催予定

お問い合わせ、お申し込みは、
電話 03-5649-2003、もしくは email
welcome@compita-japan.comまで。
さらに詳しい内容は
<http://www.compita-japan.com/>

CMM®リードアセッサへの道のり

はじめに: PPA手法における、CMM®アセッサ、リードアセッサトレーニングは、コンピュータジャパンのCMM®入門コースに参加し、CMM®を理解することから始まります。

CMM®プロビジョナルアセッサになる: PPA手法におけるCMM®アセッサコースをコンピュータジャパンにおいて、確実に終了することが必要になります。(有資格のアセッサになるための条件については左記を参照)

CMM®リードアセッサを目指す: プロビジョナルリードアセッサになるための最後の条件は、コンピュータのPPA手法によるCMM®のリードアセッサコースを受講することが必要になります。(有資格のリードアセッサになるための条件については左記を参照)

お問い合わせ

株式会社 コンピュータジャパン

〒103-0016

東京都中央区日本橋小網町 19-7

電話 03-5649-2003

FAX 03-5649-2637

[E-mail welcome@compita-japan.com](mailto:welcome@compita-japan.com)

<http://www.compita-japan.com/>